



を流しました。また、苗を分けた大町町やみやき町から嬉しい援助も。多久市の被災を知り、苗の提供を申し出てくれました。多久から派生した二千年ハスを通じて地域の縁が繋がっていることを感じ、復活への活力になっています。

そして、豪雨から1年が経った令和3年夏、遂に3輪のピンクの花が姿を見せました。陣内会長は「二千年ハスが咲く景色をもう一度取り戻すために頑張ってきたので、まずはこの第一歩が嬉しかったです」と当時は振り返り、笑顔を覗かせます。

現在の「多久二千年ハスを守る会」の主な活動は、ハス池や散策道の除草作業。3月になると苗を植え、定期的にハス池の環境を整えながら二千年ハスの開花を待ちます。

「今は咲かせるための維持管理で精一杯のため、同じ思いを持ち、活動に参加してくれる人が増えてくれたら嬉しいです。また、二千年ハスはもちろん、訪れるみなさんには周辺の文化財巡りも楽しんでほしいですね」と二千年ハスの再生を通して、地域の活性化にも熱意を燃やします。

多久二千年ハスを守る会によって、着実に再生していく聖光寺の二千年ハス。悠久の時を感じさせる二千年ハスが再び池一面に咲く日が、再生を願うみなさんの努力によって叶えられようとしています。

二千年ハスに魅せられ、踊りを考案

舞踊家 甲斐 藍子さん（北多久町）

舞踊家の甲斐さん

んは、二千年ハスが辿った長い時の流れと多久聖廟周辺の美しさにロマンを感じ「二千年古代蓮の舞」と「古代蓮踊り」を考案しました。

踊りには四季折々の多久の情景を取り入れており、令和2年には、揚琴奏者の趙勇さんに演奏を依頼し、中央公民館で初お披露目が実現しました。そして今年、念願だった聖光寺ハス池での舞の披露が決定。由紀流日本舞踊練舞会のメンバーが連まつりで「二千年古代蓮の舞」を披露します。甲斐さんは「二千年ハスにすっかり魅せられました。この舞を通じて海外からも多久市に訪れる人が増えてくれたら嬉しいです」と笑顔で話しました。



イベント情報

令和4年 第1回 多久二千年蓮まつり

● とき ●

7月10日(日) 19時～
※雨天の場合は、
7月16日(土)に延期

● 場所 ●

お火たき広場
(多久市物産館
『朋来庵』南側)

● 主催 ●

多久二千年ハスを守る会
由紀流日本舞踊練舞会